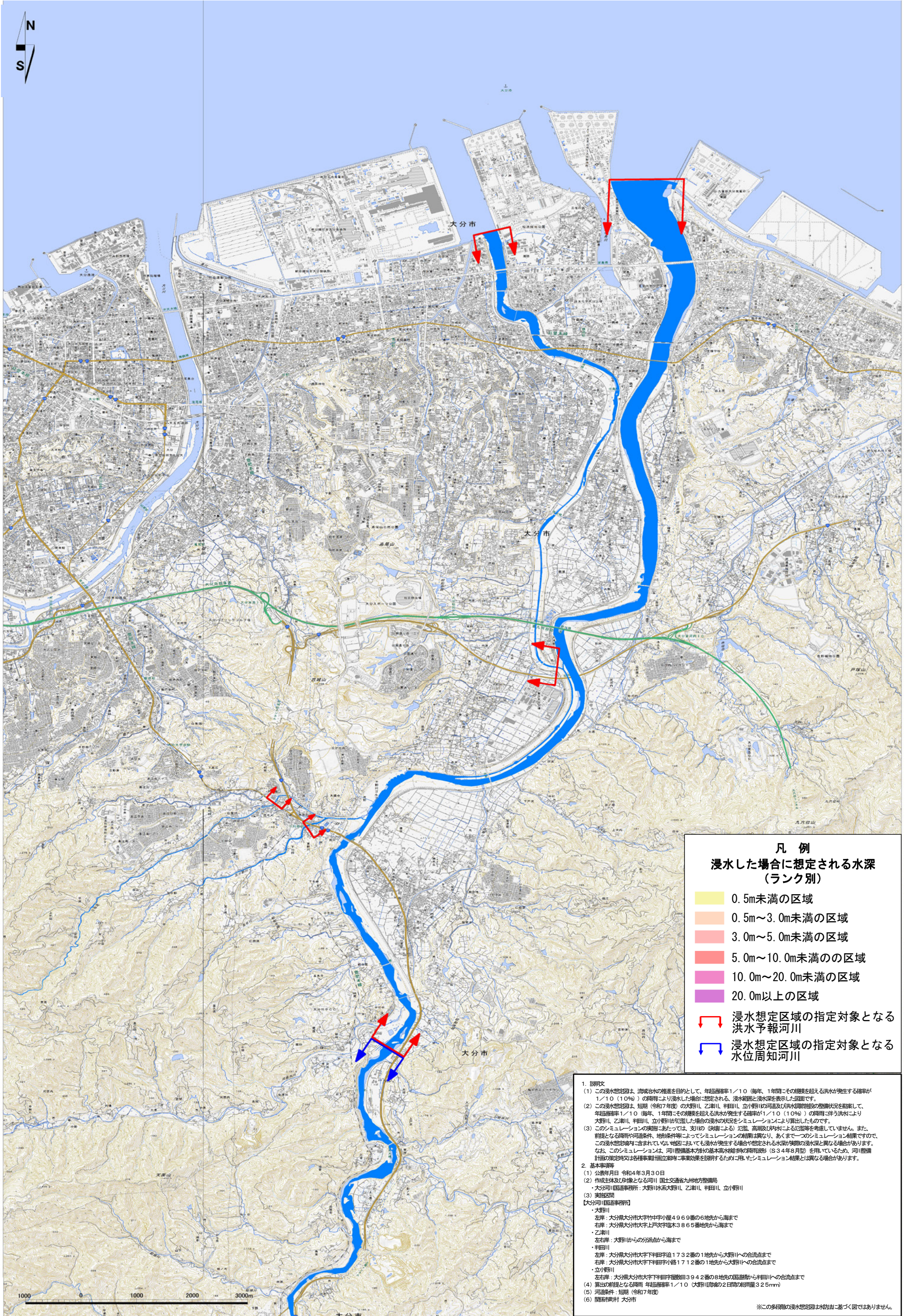


大野川水系 国管理河川の浸水想定図（1／10規模降雨） 【短期河道】



凡例
浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域

↔ 浸水想定区域の指定対象となる洪水予報河川
↔ 浸水想定区域の指定対象となる水位周知河川

1. 説明文

- (1) この浸水想定図は、河川治水の推進を目的として、年超過率1／10（毎年、1年間ごその想定を超える洪水が発生する確率が1／10（10%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。
- (2) この浸水想定図は、短期（令和7年度）の大野川、乙訓川、半田川、立小野川の河道及び洪水調節施設の整備状況を踏まえて、年超過率1／10（毎年、1年間ごその想定を超える洪水が発生する確率が1／10（10%））の降雨に伴う洪水により大野川、乙訓川、半田川、立小野川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより算出したものです。
- (3) このシミュレーションの実態としては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図に含まれていない地域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水給排水の降雨想定（S34年8月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等

- (1) 公表年月日 令和4年3月30日
- (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
- (3) 大野川（国管事務所：大野川水系大野川、乙訓川、半田川、立小野川）

3. 実施区域

【大野川（国管事務所）】

- ・大野川
 - 左岸：大分県大分市大字中野小里4969番の6地先から海まで
 - 右岸：大分県大分市大字上戸次字塩木3865番地先から海まで
- ・乙訓川
 - 左右岸：大野川からの分派点から海まで
- ・半田川
 - 左岸：大分県大分市大字下野田字道1732番の1地先から大野川への合流点まで
 - 右岸：大分県大分市大字下野田字小路1712番の1地先から大野川への合流点まで
- ・立小野川
 - 左右岸：大分県大分市大字下野田字道3942番の8地先の国道筋から半田川への合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨 年超過率1／10（大野川流域の2日間の総雨量325mm）

(5) 河産条件：短期（令和7年度）

(6) 関係河川付 大分市

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

『国土地理院の電子地形図25000『野津原』『戸次本町』『大分』『鶴崎』『別府東部』『家島』を掲載』『測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3Jis 1020』